ブロック名：　石　狩

新型コロナウイルス感染症の対応について

《養護教諭の実践・支援》

児童生徒の様子（感染症に関わって）	不安を感じている児童もいて、落ち着かない様子が見られる。中学校では自分でできることはやっていこうという方向で動いている
児童生徒への指導	手洗い・ソーシャルデスタンスを保つ指導、新型コロナウイルス感染症についての指導を行っている学校もある。
家庭・教職員への情報発信	保護者に対しては保健便りで発信。教職員へはお便りと日頃の打ち合わせを頻繁に行っている、情報交換する機会が増えた。
その他	

《各校の現状》

校内の消毒方法	アルコールや次亜塩素酸ナトリウムで共用部分の消毒を行っている。次亜塩素酸水は現在では使われていない。 ２節から外部の方が消毒作業に入っている学校もあり、時間帯は朝、放課後･部活終了後など様々である。
清掃活動の対応	徐々に普通の清掃活動が行われるようになっているが、トイレ掃除についてはまだ保護者からの不安の声もあり実施していない所もある。
給食の対応	給食当番健康観察票を毎日記入。（月末給食センターに提出する）全員正面を向いて、食べる指導を継続している。配膳については児童生徒にやらせている学校もある。牛乳パックはリサイクルせず捨てる。
健康観察シートの対応	朝、担任がチエックし、体温測り忘れや高い子は保健室で検温する。体調の悪い子は早退させる。
保健室来室者の対応	発熱や体調不良の児童生徒は、長く休ませず早退させる。ベッドをなるべく使わせないようにしている。
熱中症対策	水筒持参（小学校は水･お茶　中学校はスポーツドリンクも認めている）屋外や密にならない活動ではマスクを外す指導をしている。
教育委員会の対応（必要物品の配布等）	健康診断に必要な物品は配付してくれた。（アルコール･手袋･舌圧子など）市としての健康診断の実施の基本線が示されず、学校も学校医も戸惑っている、
その他	マスクの着用は休み時間と体育など外の活動でははずしてもよい。 手洗いは学校に着いたとき・休み時間の後、給食前、トイレの後など小まめに行う。手洗い石けんを液体に変えた。

	トイレ掃除を子どもにやらせることが不安という保護者からの意見がよせられている。 危機感の薄い家庭もある。検温やマスク忘れの常習など。

今、困っていることや交流したいこと》

・これから宿泊行事があるが、発熱した場合の対応など、どのようにしたらよいか苦慮している。
・活動が制限される中での子どもたちのストレス解消方法
・感染防止対策をした上での健康診断の実施方法について